

時間」を単純合計した数字では、小金井市が682人、東久留米市(1.043倍後)が635人となり、小金井市は47人も「水ぶくれ」していることとなります。

会計年度任用職員(月額)も含めた分析では、小金井市が1004人、東久留米市(1.043倍後)が808人ですから、196人の「水ぶくれ」です。

総論だけでなく、部課別の比較をさらに徹底し、さらなる行財政改革につなげていきたいと思います。

市職員の条例定数が多すぎる問題 削減求める陳情、不採択

11月30日、小金井市議会は、市民団体(こがねい情報公開市民会議)が提出した「市職員定数条例を改正し、正規職員の定数を削減することを求める陳情書」を、賛成10反対13の僅差で「不採択」としました。

現行条例では小金井市役所の正規職員の定数は790人となっています。正規職員の実数は677人ですので、その差

は113人となります。

実数に対して、若干の余裕をもって定数を定めること自体を否定するものではありませんが、113人も正規職員を増やす必要が生じるはずありませんし、現在は正規職員をいかに削減していくかが大きなテーマになっています。したがって、条例改正は必要だと私は考えます。

陳情書に賛成した議員

情報公開こがねい(渡辺大三)、自民党信頼(遠藤・湯沢・吹春・清水)、公明党(宮下・紀・渡辺ふき子・小林)、市民会議(斉藤)。

陳情書に反対した議員

みらいのこがねい(鈴木・村山・岸田・沖浦)、共産党(板倉・水上・たゆ)、こがおも(白井・水谷)、ネット(田頭)、市民カエル(片山)、緑つながる(坂井)、改革連合(篠原)。

※五十嵐議長(自民党信頼)は採決に加わらない。以下同じ。
※「みらいのこがねい」は立憲民主党などで構成。以下同じ。

多すぎる議員定数問題 2減を求める請願 不採択を踏まえ、1減条例を議員提案

12月定例会の最終日(12月21日)、小金井市議会は本会議を開催し、市民団体(議員定数削減の会)が1137名もの署名を添えて提出した「議員定数の削減を求める請願書」を採決に付しました。

採決の結果、請願書は、賛成11名、反対12名、の1票差で「不採択」となりました。

同請願書は、2021年3月に行われる小金井市議会議員選挙から、議員定数を現行より2減し「22」とすることを求める内容で、私も請願書の内容に賛同し、請願書の紹介議員になりました。

各党派各議員の採決態度は下の表の通りでした。

これまで、議員定数削減に賛成の議員が10名(議長を除く)で、議員定数削減に反対の議員が13名でしたが、1人会派の「こがねい市民会議(斉藤議員)」が、12月14日に、削

減反対から削減賛成に方針を変えたことにより、削減に賛成が11名(議長を除く)、削減に反対が12名となりました。「あと1名」の議員が削減賛成となれば、議員定数の削減が実現できるところまで来たのです。

情報公開こがねい、自民党信頼、公明党の3党派は、2減を求める請願書が1票差で不採択となったことを踏まえ、議員定数を1減する条例案を提出しました。条例案は継続審査となり、次期定例会(1月22日から3月5日)の本会議で採決が行われる見込みです。

新型コロナウイルス感染症の影響で、市民生活は厳しさを増しています。議員定数を聖域化して保身を図ることは許されません。他市と同程度のコスト削減努力は必要ではないでしょうか。

多摩26市のうち、人口が11万人台~12万人台の4市における議員定数は以下の通りです。

	議員定数	人口 人	面積 km ²
国分寺市	22	126,225	11.46
小金井市	24	122,862	11.30
東久留米市	22	116,899	12.88
昭島市	22	113,780	17.34

※人口は令和2年10月1日現在

請願書に賛成した議員

情報公開こがねい(渡辺大三)、自民党信頼(遠藤・湯沢・吹春・清水)、公明党(宮下・紀・渡辺ふき子・小林)、市民会議(斉藤)、改革連合(篠原)。

請願書に反対した議員

みらいのこがねい(鈴木・村山・岸田・沖浦)、共産党(板倉・水上・たゆ)、こがおも(白井・水谷)、ネット(田頭)、市民カエル(片山)、緑つながる(坂井)。

どうして、当然の内容が認められないのか 開かれた議会を求める2陳情、不採択

陳情①

「定例議会の結果をYouTubeで広報して」

小金井市議会は、議会改革に関連する2件の陳情書を本会議で採決に付しました。結果から申し上げますと、いずれも反対多数で不採択となりました。

1件は「定例議会終了後に、YouTubeで定例議会の結果をわかりやすく広報することを求める陳情書」で、賛成6反対13退席4で「不採択」となりました。

動画での定例議会の結果報告は、たとえば長野県松本市議会に例があります。同市議会HPの大項目「議会広報」の欄の小項目「委員会報告」をご覧ください。イメージが分かると思います。

市民の皆さんは日々の仕事や生活に忙しく、長時間に及ぶ市議会の会議のYouTube中継を全部視聴することは不可能です。そういう意味では、年に4回の定例議会について、そのエッセンスを短時間にまとめて動画で提供する工夫は必要不可欠だと思います。

また、若者の「文字離れ」は加速する一方で、動画での広報は、若者に市政や市議会に関心を持ってもらう「きっかけ」にもなるものです。市政に関する選挙は、低投

票率が続いており、対策としても有効です。

小金井市議会は、会議のYouTube中継は実施しており、機材はあるわけですから、機材購入費が必要になるわけでもありません。要は「やる気」があるかどうか...だけです。

各党派各議員の陳情書に対する採決態度は以下のとおりでした。

陳情書に賛成した議員

情報公開こがねい(渡辺大三)、こがおも(白井・水谷)、ネット(田頭)、市民カエル(片山)、緑つながる(坂井)。

陳情書に反対した議員

自民党信頼(遠藤・湯沢・吹春・清水)、公明党(宮下・紀・渡辺ふき子・小林)、みらいのこがねい(鈴木・村山・岸田・沖浦)、改革連合(篠原)。

退席(棄権)した議員

共産党(板倉・水上・たゆ)、市民会議(斉藤)。

陳情②

「議会が市民の質問に回答するシステムを」

もう1件は「市議会が市民からの質問に回答するシステムの導入を求める陳情書」で、賛成3反対17退席3で「不採択」となりました。

市長の方は、前市長の際に「市長への手紙(葉書)」「市長へのファックス」「市長へのEメール」制度が導入され、市民からの質問を随時受け付け、原則として10日以内に回答するシステムとなっています。

一方、議会にはそういうシステムがありません。本件陳情書は、議会にも導入を求めるという、常識的な内容でした。なんで不採択にするのか、私には理由がまったく分かりませんでした。

各党派各議員の陳情書に対する採決態度は右の表のとおりでした。

今回は、2件の陳情書が不採択となり、極めて残念です。私は、今後も、「市民に開かれた議会」「市民がアクセスしや

すい議会」「市民の「なぜ?」に答える議会」の実現をめざして、今回「不採択」となった内容に関しても、あきらめないで実現をめざしてまいります。

陳情書に賛成した議員

情報公開こがねい(渡辺大三)、市民カエル(片山)、市民会議(斉藤)。

陳情書に反対した議員

自民党信頼(遠藤・湯沢・吹春・清水)、公明党(宮下・紀・渡辺ふき子・小林)、みらいのこがねい(鈴木・村山・岸田・沖浦)、こがおも(白井・水谷)、ネット(田頭)、改革連合(篠原)、緑つながる(坂井)。

退席(棄権)した議員

共産党(板倉・水上・たゆ)。